

## 第42回武豊町地域公共交通会議 議事録

日時：令和4年12月9日（金）

14：00～16：00

武豊町役場 北庁舎2階 全員協議会室

### ○司会（防災交通課長 長谷川）

- ・それでは定刻となりましたので、ただいまから「第42回武豊町地域公共交通会議」を開催させていただきます。委員の皆様方におかれましては、大変お忙しい中、ご出席を頂きまして、誠にありがとうございます。
- ・次に、欠席・代理出席のご連絡を頂いております。名簿の17番愛知県知多建設事務所維持管理課横山委員は欠席のご連絡を頂いております。次に委任状による代理出席ですが、16番愛知県都市・交通局交通対策課大林委員の代理で赤羽様、11番知多乗合株式会社の金森委員の代理で橋本様に代理での出席を頂いております。また、7番の武豊町商工会、橋詰委員がまだ到着されておられません。先に始めさせていただきます。
- ・併せまして、本日の傍聴人は1名です。ご承知おきください。なお、この会議は公開で行い、開催内容につきましても町のホームページなどで広くお知らせしますので、よろしくお願い致します。
- ・次に資料の確認をさせていただきます。一部資料に変更が生じた資料5-2、資料5-3を配布させていただきます。併せて、生活の足を考える会の活動風景の資料を追加配布しております。不足等ございませんでしょうか。それでは、お手元の次第に沿って進めさせていただきます。
- ・開会にあたりまして、会長であります、粕山芳輝武豊町長よりご挨拶を申し上げます。よろしくお願い致します。

### 1. 会長あいさつ

#### ○粕山町長

- ・こんにちは。本日はご多忙の中、第42回武豊町地域公共交通会議に出席頂きありがとうございます。日頃から、座長の伊豆原先生を始め皆様には、それぞれのお立場で町行政、とりわけ公共交通事業に対してご支援、ご協力を頂き、改めて御礼申し上げます。
- ・10月にはコミュニティバスゆめころんの青ルートの変編を行いました。後程担当より報告がありますが、新設の停留所であり、温水プール、北部に延伸したエリアにおきまして、地域での定着が進んでおり、ご利用頂いております。
- ・全体の利用者数の推移を見ますと、コロナ禍前の令和元年度は一月当たり6,000人台でした。コロナ禍で3,000人台まで減少しましたが、徐々に回復をしてきており、今年の変編後の10月におきましては、6,000人を超える利用となりました。
- ・同じく制度を変編しました接続タクシーにつきましても、これまでの利用者はもとより、運用ルールが自宅から最寄りのバス停までの利用となり、新しく利用される方が見えるようになりました。今後も多くの人に、健康づくり、買い物、散歩などのお出掛けの手段としてご利用頂けるよう周知に努めて参ります。

- ・本日の議案ですが、報告事項1件、議案事項1件を予定しております。
- ・皆様から忌憚のないご意見をお願いして、挨拶とかえさせていただきます。

## 2. 委嘱状交付（新委員の紹介）

### ○司会（防災交通課長 長谷川）

- ・ありがとうございました。続きまして、「2. 委嘱状交付」です。
- ・今年度、新しく委員になられました1名の委員のご紹介をさせていただきます。お名前を読み上げますので、その場でお立ちください。

知多乗合株式会社取締役社長 金森 隆浩（かなもり たかひろ）様  
（代理の橋本様へ交付させて頂いた）

### ○司会防災課長（長谷川）

- ・ありがとうございました。それでは、改めまして本日の出席委員は、18名です。
- ・「規約」第6条第3項の規定による、過半数を超えるご出席を頂いており、本日の開会要件を満たしておりますので、これより議事に入らせて頂きます。
- ・「規約」第5条第5項に「座長は交通会議の議長となる。」とありますので、座長であります、伊豆原先生に進めて頂きます。先生、よろしくお願い致します。

## 3. 報告事項及び議案

### （報告事項）

#### ●報告事項1 本町における地域公共交通の利用実態について・・・資料1～4

### ○伊豆原座長

- ・こんにちは。忌憚のないご意見を頂戴したいと思います。武豊町の公共交通がよりよい交通サービスとなるためにご意見をお願いします。
- ・それでは、次第に沿って会議を進めさせていただきます。報告事項1の「本町における地域公共交通の利用実態について」です。事務局より説明をお願いします。

### ○事務局説明（田中）

- ・資料説明

### ○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。10月の変更後の実績を含めて、利用実績について報告がありました。なにかご質問、ご意見ありますでしょうか。

### ○山内委員 愛知運輸支局

- ・赤ルートの利用が伸びている点は良かった。引続き利用促進の継続をお願いします。接続タクシーについて、10月に変更したが新しく登録証の交付された方が利用されているか分かりますか。

○事務局（田中）

- ・ 9月、10月に新規登録した17人についての利用は見られませんでした。今回は、過去に登録された方の中でこれまで利用されていなかった方が利用されたことを確認しました。

○伊豆原座長

- ・ ありがとうございます。ほかにご質問、ご意見はありますか。

○石原委員 町議会議長

- ・ 10月から新設されたバス停について、住民の方からありがたいというご意見を直接伺った。ルート改編後に事務局に直接届いた声があれば教えてほしい。

○事務局（田中）

- ・ 届きましたお声について一部お伝えさせていただきます。これまでのルートで利用されていた方から、「早く駅まで行けたのに駅までが遠くなってしまった」、新しいバス停について、「バスを待つときに利用者が民地に入って待つことがあり、バス停の位置が変えられないのか」等のご指摘がありました。バスの進行方向については、1周50分の運行時間には変更がないことを始め、ご理解頂くようお願いし、民地内で待機している方にはお声がけをさせて頂いた。その後、住民からはご指摘は無くなりました。夏場も引き続き留意したい。上ゲ駅、ちゅうや整形外科等の新しい停留所については、利用者から新設して良かったとの声を頂きました。

○伊豆原座長

- ・ ご意見、ご要望は、事務局にて対応頂く。感謝の声はありがたい。逆回りになったので、少し様子を確認していきましょう。7月と10月に6,000人台の利用の報告がありました。バス全体の利用者が回復してきました。バスの使いやすさや、新しいバス停のPRについては、とても重要なので、皆様方にも周知にご協力頂きたいと思います。
- ・ 接続タクシーについて、登録された方が使い勝手が良くなったのか、登録者から良い声があればPRに使って頂ければと思います。
- ・ ご質問等がありますか。特にご意見ないようですので、利用報告は確認されたとして、進めさせていただきます。
- ・ 改編後、全てが順調とは言えませんが、ほとんど想定した範囲内かと思います。委員の皆様からもPRをお願いできればと思います。

### 3. 議案

●議案第1号 令和4年度地域公共交通確保維持改善に関する自己評価（案）及び地域公共交通

計画の評価結果 概要（案）について・・・・・・・・・・資料5-1～4

○伊豆原座長

- ・ ここから議案となります。議案第1号「令和4年度地域公共交通確保維持改善に関する自己評価（案）及び地域公共交通計画の評価結果 概要（案）について」事務局から説明をお願いします。

○事務局説明（田中）

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。この資料は国に提出することになっています。お気づきの点ございましたらご指摘をお願いします。まず、資料5-1の中部運輸局の様式について確認したいと思います。これは中部運輸局独自の資料で、事業の概要、事業の取組、自己評価が分かるものとなっております。今年から一部様式変更がありました。こちらについて、ご意見、ご質問等ありますか。

○山内委員 愛知運輸支局

- ・愛知運輸支局の修正指摘について、より分かりやすくすること、分析を深めることの観点での対応を行います。評価の内容を変えるものではありません。
- ・接続タクシー制度見直しの実施結果について、社会実験の実施について実施内容が紹介されているので、実施結果と考察を加えて赤ルート、青ルートの利用促進に繋げて頂けるとありがたいと思います。

○伊豆原座長

- ・先ほども事業の再編で住民から指摘のあった発言も、例として加えてもらった方が良いのではないかと。実績と含めて追記・修正をお願いします。

○久保委員 長尾地区

- ・11ページ。区長会及びサロンでの実施記載がある。接続タクシーのPRは行っているが、使い方がまだ分からない方がいる。サロンには70～80歳代が中心となっている。運転免許の返納状況、免許返納しても代替サービスがあること、高齢者の事故の状況を併せて説明すべきだと感じました。自分もサロンに参加しているので感じたことを発言させて頂いた。

○事務局（田中）

- ・まだまだ周知については根気よくやっていかないといけないと思っている。サロンだけでなく、老人クラブの集会や、出前講座などにて、周知を行っていきます。免許返納促進や交通安全対策、公共交通の利用等も絡めてご案内して参ります。貴重なご意見ありがとうございました。

○伊豆原座長

- ・事故を起こしてからでは遅いので、周知は大切だと思う。また、利用者からのご意見も頂けると大変ありがたいと思います。

○山内委員 愛知運輸支局

- ・9ページの取組方針について、半田市や常滑市のネットワークの乗り継ぎ方法について、広域ネットワークに着目されるのは大切なことです。現時点での想定している取組についてお聞きしたい。

○事務局（田中）

- ・名鉄の青山駅、イオン半田に乗り入れています。常滑市のコミュニティバス「グリーン」は、名鉄知多武豊駅に乗り入れています。実態としてかなりの利用が進んでいる。詳細な人数については把握していないが、学生の利用も多く見られます。
- ・新しい時刻表には、知多管内の公共交通の概要図を入れさせて頂きました。知多管内の他市町につながる幹線を入れて、多数の移動手段を目に見えるような形で示しています。今後も地道な活動にはなりますが、時刻表を活用してネットワークに関するPRも進めて参ります。

○伊豆原座長

- ・常滑市については、データをもらって、会議で報告できると良いかもしれない。評価する側としては、他の利用実績もあるとよいので、確認してください。
- ・今後の方針について、生活の足を考える会の報告を頂いて、各団体と協働で実施できることがあれば、盛り込んでもらえると思います。武豊町は、住民と一緒に活動を進めていることが特徴なので明記するとよいと思います。武豊の住民活動は、県の表彰も受けており、記載がないとどうなったか気になってしまうので、協働して活動をしていることを示してほしい。

○山内委員 愛知運輸支局

- ・EVバスの状況報告をお願いしたい。導入された暁には、EVバスがシンボリックな対象となる等、メッセージ性のある素材として活用するだろうことから、どのように盛り上げ、活用するかについて教えてほしい。

○事務局（田中）

- ・EVバスについては、メーカーと調整していますが、昨今の情勢の影響もあり納入には至っておりません。メーカーからの情報は、遅れているが確実に納入に向けて進んでいます。事務局としては、ラッピングの検討を始め、SDGsに関する取組みも考慮し進めております。

○伊豆原座長

- ・ある程度目途が立てば、資料に記載可能ということか。

○事務局（田中）

- ・明確になれば記載できます。

○伊豆原座長

- ・提出期限については支局に相談し、納入タイミングなど新しい情報をメーカーに確認して加えてもらえればと思う。
- ・来年の第三者評価に武豊町は対象になっているか。

○山内委員 愛知運輸支局

- ・まだ調整中ですが、今回は対象外になると思います。

○伊豆原座長

- ・直接評価委員からコメント、アドバイスをもらえる機会なのですが。
- ・その他ありますか。修正事項について、事務局にて対応し、会長・座長の確認をもって進めていくということで了解頂きたいがよろしいか。

○委員

- ・異議無し。

○伊豆原座長

- ・承認ありがとうございました。資料5-2及び5-4は、国の様式、資料5-3は県の様式になります。この資料を基に、地域幹線系統についての評価をしてもらいます。この資料についてご意見等があればお願いします。

○赤羽委員代理 愛知県都市・交通局

- ・資料5-3について2点確認したい。
- ・1点目は、「2.R4年度の運行状況」の目標効果達成状況について、目標の達成状況の部分で、要因の車内掲示とは何を行ったのか。
- ・2点目は、裏面の「4.今後の課題について」の課題と認識している事項、「②地域公共交通計画に基づく各事業の的確な実施」の部分で、交通不便地域への対策と記載していると、赤ルートを用いて実施しているように見受けられる。これは、接続タクシーの役割として記載しているのではないか。

○事務局（田中）

- ・1点目、「2.R4年度の運行状況」の目標効果達成状況についての車内掲示とは、おしゃべりを控えて頂く、マスク着用などのコロナ対策のポスターを数か所掲示している。
- ・2点目、「4.今後の課題について」の交通不便地域への対策については、おっしゃる通り接続タクシーによる対応を整理したものです。

○赤羽代理 愛知県都市・交通局

- ・2点目については、赤ルートの課題と接続タクシーに関することが混ざっているので、整理をお願いしたい。
- ・1点目については、会話を控えることで目標が達成されたのか。

○事務局（田中）

- ・ポスター掲示を行い、会話を控えて頂くことで住民に安心して利用して頂き、乗車に繋がっていると認識している。

○伊豆原座長

- ・具体的な感染対策としての明記をするべきと思います。第6波からの傾向の変化を記載すると良いと思います。

- ・接続タクシーは、交通空白地域の対策として重要な事業である。赤ルートの乗車に繋がる接続タクシーであると説明しておくようにして下さい。

○赤羽代理 愛知県都市・交通局

- ・単語だけでは事情が分からない方には理解されないので、丁寧な説明対応をお願いします。例えば、交通不便対策が地域への対策という部分で、「接続タクシーへの接続による」と記載すると分かりやすくなると思います。

○山内委員 愛知運輸支局

- ・資料5-1の6ページ、感染対策のポスター掲示などは、国、県、町が一緒に進めています。この部分を丁寧に整理すれば伝わると思うので、調整をお願いします。

○事務局（田中）

- ・書き方について修正して参ります。

○山内委員 愛知運輸支局

- ・資料5-2の改善点について、「充電設備を設置した」と過去形になっている。車両導入後、ラッピングや町のシンボルとして利用促進を図る中で、併せて広域ネットワークによるEVバス導入を進める形での取組や改善点として記載してほしい。

○伊豆原座長

- ・過去形の部分をふまえて、今後の取組、改善点を示してください。
- ・よい取組予定を盛り込んでください。資料の提出締め切りは一緒なのでEVバスの導入時期に関する情報が分かれば一緒に盛り込んでもらえると思います。
- ・資料5-2⑤の令和4年度の利用者数がコロナ前の水準を上回ったことは、もっと前面に打ち出してよいと思う。③から⑤に繋がる文章を⑤に記載したほうがよい。
- ・ご指摘のあった修正は事務局にて対応し、会長・座長の一任頂く形で、提出を進めさせて頂くことで宜しいか。

○委員

- ・異議無し。

○伊豆原座長

- ・ありがとうございます。進めさせて頂く。議案は了承頂いたとします。

#### 4. その他

●武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会の活動計画等

○伊豆原座長

- ・それでは、次第の4. その他に移ります。「武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会の活動計画等」についてです。会長であります櫻場さんよりご報告をお願い致します。

#### ○櫻場委員 コミュニティバス・生活の足を考える会

- ・最近の稼働状況報告を報告します。11月12日の産業まつりにて、アンケートを実施し、利用者の声を聴いております。アンケートの結果については、まだ整理できていないので報告できないのですが、アンケートの実施状況の資料をお配りさせて頂きました。
- ・コミュニティバスの利用を見ていると、利用者が固定されている感じがし、伸び悩みの状況にあるように感じる。さらなる利用者拡大には、新たな利用者の開拓が必要です。高齢者の利用に加えて、親子、若者の利用、遊びの対象としてのバスにすることを考えたい。バス停周辺のスポットの募集を行っており、報告を考えている。良い場所を報告してもらい、住民と情報を共有したいと思っている。
- ・事例としてヨットハーバー、温水プール、中央公園のサクラ、カラーのマンホールなど、細かなスポット情報を共有し、バスの利用促進を図っていきたい。
- ・保育園には、「ゆめころん」のぬりえを描いてもらい、バスに掲示したい。家族がその絵を見に来ることで、バスの利用促進にも繋がると考えている。
- ・こうした情報をSNSに掲載する仲間もいるので、生活の足を考える会に加えて、情報共有を行い、情報を広めたい。
- ・接続タクシーについて、自宅からバス停までに変更した。まだ、知らない人が多いと感じた。高齢者は無料になるので、どんどん利用拡大できるよう、PRを進めたい。接続タクシーはバス利用促進の事業ではあるが、タクシー利用のきっかけにして、タクシーの活用に結び付けたいと思っている。
- ・私も免許証を返納した。自転車に切り替えたが、道が狭いことで車より安全ではなくなった。自転車の横を自動車が走行することで危険を感じるようになった。車道の左側に限らず走れるようにしてほしい。自転車で歩道を使うが、段差や窪みもあるのでもっと平にしてほしいと感じる。
- ・最近の活動としてはアンケートの実施を行い、今後の活動としてスポット、ぬりえ、SNSでの拡散などを行っていきたくて考えております。

#### ○山内委員 愛知運輸支局

- ・いろんな角度からのお話しありがとうございます。ヨットハーバーはコメントがポイントとして効いている。今後の展開には、最寄りのバス停などを付記して広げてほしい。

#### ○櫻場委員 コミュニティバス・生活の足を考える会

- ・この資料はサンプルなので、報告する際は、ミニ冊子など考えている。その際には、行ってみようかな、どうやって行くのかなと思うような、最寄りのバス停などコメントや案内を入れて発信していきたい。

#### ○伊豆原座長

- ・SNSはいろんな可能性が広がると思います。スマホはかなり普及したものの、口コミも大切だと思います。時間を消費する行動としてバスの利用促進も進めてもらいたい。まちを巡るバスの活用も良いと思います。



○朧山会長 町長

- ・貴重なご意見ありがとうございます。2点お話ししたい。
- ・気が付かないスポットの情報発信はよいアイデア。2年後には武豊町の町政70周年を迎えます。記念事業として、武豊町内の「私だけのスポット」というものを募集してもいいのかも感じました。
- ・歩道の段差問題は、町長への手紙でもご指摘を受けている。解決するためには、時間も労力もお金もかかるが、根気よく対応していきたい。

○伊豆原座長

- ・この交通会議は、年3回程度の開催です。是非、皆様からのご意見や情報共有をお願いします。

○山内委員 愛知運輸支局

- ・11月30日のセミナーで報告したことになりますが、ドライバーの労働時間の施行改正に向けて検討している。昨年3月に中間とりまとめをドライバー業界に周知している。令和6年4月に施行を予定している。簡単に言えば、ドライバーの拘束時間が1時間短くなり、ダイヤの運用に影響を与えることが想定される。現状のダイヤの確認はもちろん、回送や渋滞の状況、休憩環境など、運行事業者とコミュニケーションをとって頂き、利用者のご理解を得ながら対応をお願いしたい。

○伊豆原座長

- ・3月の会議で報告をお願いします。

○桑山委員 愛知県交通運輸産業労働組合協議会

- ・労働時間の告示内容が変わります。ダイヤ改正時には是非ご配慮頂きたい。

○伊豆原座長

- ・タクシーについては、運賃値上げの協議も進んでいます。業界から、タクシーの利用実績、状況について可能な限りデータ提供をお願いしたい。今のタクシーの利用状況等を次の会議で情報共有して頂きたい。今でも利用者にとってタクシーは狭い空間と認識され感染面でのイメージが残っているように感じます。利用促進の観点でも実績報告をお願いしたい。

○深谷委員 愛知県タクシー協会

- ・タクシーの運営状況は今も厳しい状況にある。特にドライバー数が20%以上減少している。車があっても乗務員がいないので動かせない状態にあります。ピーク時の午前中は特に予約を受けられない場面もある。
- ・コロナの影響もあり、令和元年と比較し売上は70%を下回る状態にあります。燃料の高騰もあり、経費面の負担も多くなっております。対策として運賃の値上げを申請せざるを得ない状況にある。労働条件の改善につなげ、ドライバーの確保を目指したい。データについては、別途報告させて頂きたい。

○森川委員 安全タクシー株式会社

- ・タクシー協会理事の指摘のとおりになります。安全タクシーは今年で創業73年目を迎えます。これまでなんとか存続させてきました。EVタクシーも走らせる計画をしています。2月に社屋を新しくし、UDタクシーを2台追加し、合計6台で運営していきます。これからも移動サービスを提供していきたい。

○櫻場委員 コミュニティバス・生活の足を考える会

- ・タクシーについて気楽に使えるようにしていきたい。例えば、グループで1台タクシーを借り上げ、月額固定で使用できるようにしたい。何人のグループで、目安の金額などの検討ができないか。曜日固定、昼間の時間帯だけの使用など。

○伊豆原座長

- ・いわゆるサブスクという指摘です。相乗りや社内での情報共有方法の検討など、いろんなやり方があるかもしれません。武豊町内だけのサービスとしての運用などもやり方の一つとして考えられると思います。

○森川委員 安全タクシー株式会社

- ・サブスクについてはタクシー業界で研究が進んでいる。半田市では、地域から指定された場所まで行ける「おでかけタクシー」という制度が導入されているので、検討してもよいと思います。

○深谷委員 愛知県タクシー協会

- ・サブスクは研究が進み、いろんな事例が増えてきたが、櫻場さんのご意見については研究が必要となります。

○伊豆原座長

- ・地域の皆さんで考えることが大切だと思います。是非連絡をとりあって検討を進めて頂きたい。時間もありますので本日はこれまでとします。進行を事務局にお返しします。

## 5. 閉 会

○司会（防災交通課長 長谷川）

- ・伊豆原先生、ありがとうございました。
- ・それでは、次第の5. 閉会に移ります。閉会にあたりまして、会長であります靱山芳輝武豊町長よりご挨拶を申し上げます。

○靱山会長 町長

- ・長時間に渡りありがとうございました。伊豆原先生、進行ありがとうございました。
- ・ご意見についてすぐに答えられないものもありましたが、期待に沿うように検討して参ります。評価につきましては、修正して国への提出対応を進めさせていただきます。
- ・大東建託のアンケート調査で、住み続けたいまちとして、2年連続で武豊町が3位に選ばれました。1位は長久手市、2位は名古屋市緑区となっております。コミュニティバスも評価の一つとなっていると思います。

- ・EVバスについては、日野自動車と調整を進めておりますので、3月の会議では報告したいと考えております。適切な手続きを進めていきます。本日はどうもありがとうございました。

○司会（防災交通課長 長谷川）

- ・次回「第43回武豊町地域公共交通会議」は令和5年3月の開催を予定しております。
- ・以上をもちまして「第42回武豊町地域公共交通会議」を閉会致します。ありがとうございました。

以上